三機工業グループの経営資源

三機工業グループがおよそ100年をかけて積み上げてきた資本は、日々の事業活動を支えるとともに、次なる成長の源泉となります。今後も経営資源の充実化に努めながら、当社グループ最大の提供価値である総合エンジニアリングの質の向上を果たし、自らの持続的な成長へとつなげていきます。

技術の力で時代を拓いてきた三機工業グループにとって、技術を宿す「人」は最大の「財」であり、事業競争力や企業価値の源泉であると捉えています。人的資本への継続的な投資を通じて、より効果的な人財の育成や活用に向けた環境整備に取り組んでいます。

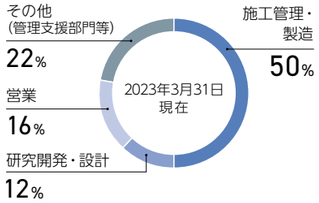
- 「選ばれる」会社の実現に向け、会社の「質」と「信頼」を高める中計Phase3施策の一環として、将来の事業を担う多様かつ高度な人財の確保・育成に注力
- 総合研修・研究施設「三機テクノセンター」を活用し、キャリア育成のため人事研修や資格取得対策などの座学研修、実機を使った実践的な技術・安全研修を実施
- 現場の施工業務を一緒に支える協力会社向けの研修を実施、研修施設も提供
- 現場支援体制の構築やDXなどを通じた働き方改革の加速、やりがいを感じられる人事制度・さまざまな両立支援制度の整備など、従業員一人ひとりが活き活きと働きながら、能力を最大限に発揮して自律的なキャリアを歩むための環境づくりを継続

関連する方針・中計Phase3施策

関連する方針
- スマイルワーク・ガイドライン

中計Phase3施策
- コア事業の強化
- 働き方改革の加速
- 次世代に向けた投資

従業員の職域別内訳



人的投資額(2022年度)

約231億円

施工管理技士(土木・建築・電気工事・管工事)(2023年4月1日現在／連結)

1,225名

三機工業グループは、事業推進と人財育成のベース基地として国内外に拠点を有しています。

- 国内全域およびアジア・ヨーロッパにおいて事業を展開。支社・支店(国内18カ所)、連結グループ会社(国内5社、海外3社)の各拠点は施工現場でのOJTを支える人財育成のベース基地としても機能
- 「三機テクノセンター」は技術力の継承・発展を担う技術の殿堂であり、研究開発部門「R&Dセンター」も内包
- 搬送機器の主力生産拠点「大和プロダクトセンター」は、品質・生産性・開発能力の向上の場として機能

関連する方針・中計Phase3施策

中計Phase3施策
- コア事業の強化
- 成長戦略の推進
- 働き方改革の加速
- 次世代に向けた投資

設備投資額(2022年度)

4.5億円

ICT投資額(2022年度)

16.5億円

P. 26-28 中期経営計画"Century 2025" Phase3(2022～2025年度)の進捗

ビルオーナーやデベロッパー、各種メーカー、行政機関など、全国の多様なお客さまと長年をかけて培ってきた信頼関係をベースに各種工事を受注し、建築会社や協力会社を含めたお取引先との連携のもとで施工を行っています。

- 金融機関、電機メーカー、自動車メーカーなど長年をかけて培ってきた顧客基盤を維持・強化
- 施工体制強化に向け、現場の施工業務を支える全国各地の協力会会員企業との信頼関係の維持・強化のため、定期的に会合や研修の機会を設けるほか、認定・表彰制度を設定
- お取引先の安定した経営環境を守るべく、支払い条件の改善を実施
- 各拠点地域において、行政など関連するステークホルダーと積極的なコミュニケーションを図りつつ、その発展に寄与すべくさまざまな社会貢献活動を実施

関連する方針・中計Phase3施策

関連する方針
- 三機工業グループ調達方針

中計Phase3施策
- 三機ブランドの向上
- 社会のサステナビリティへの貢献

協力会会員企業

859社

空気・水・熱・電気・機械・情報などの要素技術を最大限に活用することで、お客さまの課題ひいては社会が抱える多様な課題の解決に寄与しています。

- R&Dセンターを中心に、各事業部門と連携しながら新技術の研究開発や保有技術の改良・高機能化、基礎研究や新技術の調査を推進
- 多様な分野で設計・施工・保守までをカバーする総合エンジニアリングの要素技術をベースに、最新のIoT・AI技術等を組み合わせ、オープンイノベーションも活用しながら最新のニーズに応えるソリューションを開発
- 研究開発の過程で生み出される知的財産は、特許概要・公報を含めてデータベース化した上で適切に管理・運用。社内で定期的に特許等に関する情報共有や教育研修を行い、知的財産の積極的な活用と保護を推進

関連する方針・中計Phase3施策

中計Phase3施策
- コア事業の強化
- 働き方改革の加速
- 次世代に向けた投資

研究開発費(2022年度)

15.0億円

三機工業グループは、ビルや工場、店舗、病院、各種インフラ施設などへの省エネルギー・創エネルギー設備の導入を通じて、脱炭素社会の構築に貢献しています。

- 環境に配慮した製品や工法の開発
- 「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度の推進を通じ環境保全活動を展開
- 自らが事業活動で使用する電力、燃料などのエネルギーや水資源、排出されるCO_2、廃棄物などの環境負荷を定量的に把握し、その改善に向けた対策を通じて地球環境の保全に貢献
- 再生可能エネルギーの活用など自社の環境負荷を低減する取り組みを推進
- 南極地域観測事業に人員を派遣し、排水処理設備や空調設備の維持・管理業務を通じて、南極地域の生物多様性保全に貢献

関連する方針・中計Phase3施策

関連する方針
- 三機工業グループ環境方針
- サステナビリティ方針
- SANKIカーボンニュートラル宣言

中計Phase3施策
- 社会のサステナビリティへの貢献
- 次世代に向けた投資

Scope別CO_2排出量(2022年度／連結)

Scope1,2排出量 5.34千t-CO_2

Scope3排出量 3.93百万t-CO_2

財務資本の詳細は「最高財務責任者メッセージ」をご覧ください。

P. 29 最高財務責任者メッセージ